

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み															
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策															
		＜旭川＞ ・バイピング対策 ・流下能力対策	実施状況	バイピング対策 流下能力対策	継続実施										
			今後の予定	継続実施	R3年度～										
		＜県管理河川＞ ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所 の適切な修繕	実施状況					広域河川改修事業21河川、総合流域防災事業2河川をはじめ、県単独事業においても堤防や河道拡幅等の整備を実施 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施	発災後から随時 (主には非出水期)						
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施						
■危機管理型ハード対策															
		＜旭川、百間川＞ ・堤防天端の保護	実施状況	堤防天端の保護	H28年度										
			今後の予定	整備済	整備済										
		＜県管理河川＞ ・堤防天端の保護 ・堤防家法灰の補強	実施状況					優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	R2年度						
			今後の予定					優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	～R3年度						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基礎等の整備															
		・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基礎の整備	実施状況	事務所HP公開ライブカメラ(7箇所)整備済	整備済			危機管理型水位計等の増設(97基) 令和元年度までに78基、令和2年に19基増設(増設中) (吉井川水系 30基、旭川水系 12基、高梁川水系 19基、その他 36基)	～R2年度						
			今後の予定	整備済	整備済			令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開予定	R3年度(予定)						
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況					緊急告知ラジオを市有施設、町内会、自主防災組織などに配布 防災行政無線(アナログ、デジタル)、緊急告知ラジオ放送設備の改良 緊急告知ラジオの一般販売	H26～R1年度 H31～R2年度 R2年度	H26～28年度の3箇年で、市内49箇所を整備	H26～28年度	実施済み FM無線中継局(緊急告知ラジオ用)の整備 移動系代替整備としてMCA無線を導入 緊急告知ラジオ配布	H30年度 R1年度 R2年度～		
			今後の予定					継続実施	継続実施	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	緊急告知ラジオの配備促進	R3年度～		
		・重要水防箇所の見直し	実施状況					令和元年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(破堤箇所及び一連区間、漏水箇所、陸岸等の追加) 令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸岸の適正化に伴う廃止等) GISを活用した情報高度化の運用開始	～R2年度						
			今後の予定					令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸岸の適正化に伴う廃止等)	R3年度～						
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	保有する水防資機材の状況を平時管理し、必要に応じて補充	R2年度			定期的に各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行っている	H29年度～	水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土のう袋提供 一般市民への土のう配布	R2年度	土のう袋及びフルシート等を計画的に備蓄	～R1年度	市の職員を中心に水防資機材の確認、資機材を使った水防訓練を行った	H30年度
			今後の予定	継続実施	継続実施			現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R3年度	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施	
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)設置済	～R元年度			＜危機管理型水位計等の増設(97基)＞ 令和元年度までに78基、令和元年度に19基増設(増設中)。(吉井川水系 30基、旭川水系 12基、高梁川水系 19基、その他 36基) ＜量水標＞ 水位計に合わせて設置 ＜河川監視カメラの増設(67基)＞ 令和元年度までに41基、令和2年に26基増設(増設中) (吉井川水系 18基、旭川水系 19基、高梁川水系 14基、その他 16基)	～R2年度						
			今後の予定	整備済	整備済			＜水位計・カメラ＞ 令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開する予定	R3年度(予定)						
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度										
			今後の予定	整備済	整備済										
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況	令和2年5月29日治水協定を締結済	R2年度			操作規則等の点検を実施を実施	～R1年度						
			今後の予定	引き続き洪水調節機能の強化に向けた取組を推進	R3年度～			操作規則等の変更	R3年度(予定)						
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況					操作実施者の負担軽減や緊急時の迅速かつ確実なゲート開閉等を目的とし、無動力化(フラップゲート化)を実施	R2年度						
			今後の予定					今後も樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保のため、関係機関との連携を図る。	R3年度～						
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況					先行事例の情報収集等	～R2年度						
			今後の予定					引き続き、先行事例の情報収集・研究に努める。	R3年度～						
		・内水の排水活動に資する基礎等の整備	実施状況					過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。	発災後から随時 (主には非出水期)	平成30年豪雨で大きな被害があった排水区を加えた重点地区において、雨水幹線管きよ、ポンプ場の下水道整備を推進 町内会への可搬式ポンプの無償貸与	R2年度				
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R3年度				

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み													
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策													
		<旭川> ・バイピング対策 ・流下能力対策	実施状況										
			今後の予定										
		<県管理河川> ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況										
			今後の予定										
■危機管理型ハード対策													
		<旭川、百間川> ・堤防天端の保護	実施状況										
			今後の予定										
		<県管理河川> ・堤防天端の保護 ・堤防家法灰の補強	実施状況										
			今後の予定										
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備													
		・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	雨量監視システム9箇所更新、HPでリアルタイム公開	R2年度								
			今後の予定	現在の取り組みを継続	継続実施								
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況	各戸告知放送端末(FM)整備済	R1年度	H30年度完了	H30年度	町防災行政無線をデジタル化町内全世帯へ個別受信機を無償貸与(H25年度)	H25年度	IP告知無線機の機器更新実施町全体の80%実施済	～R2年度	未実施	R2年度
			今後の予定	移動系防災無線のデジタル化対応	R3年度	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	未定	未定	新規設置継続	継続実施	デジタル式の防災行政無線を整備	R3年度
		・重要水防箇所の見直し	実施状況										
			今後の予定										
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	県民局との管理協定(陸開資材、管理)	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度			全消防団員へ視認性の高い活動服及び雨合羽を配備自治会へ土壌袋等を配付、全世帯へ避難時防災セットを配付資機材等の数量の確認及び不足した資機材の確保	R1年度 R2年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	検討中	検討中	未定	未定				R3年度
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況			村管理2か所、県管理1か所(水位計、河川監視カメラ)設置済み	～R2年度	町内2箇所に河川カメラを設置済み(H25年度)	H25年度	R1年度に河川カメラの更新、新設(更新10か所、新設5か所)カメラデータについては、みさきTVデータ放送で、静止画像、ライブ配信美咲町HPでも情報提供	～R1年度		
			今後の予定			未定	未定	河川監視カメラ設置予定(1箇所)	R3年度	雨量計の新設、更新実施の予定(3カ所)	R3年度以降		
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況										
			今後の予定										
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況										
			今後の予定										
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況										
			今後の予定										
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候ドローン)	実施状況										
			今後の予定										
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況							未実施	R2年度	未実施	R2年度
			今後の予定							未定	未定	未定	R3年度

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
2)ソフト対策の主な取り組み (1)迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取り組み																
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(旭川/百間川における国管理区間)	実施状況	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表済	H29年度											
			今後の予定	公表済	公表済											
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況	20河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系 8河川、旭川水系 4河川、高梁川水系 3河川、その他 5河川) 5河川について、早期公表に向け作業中(吉井川水系 5河川)				～R2年度								
			今後の予定					R3年度～								
		・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況	幹事会で広域避難の協定事例を構成機関へ共有済	R2年度	未実施	H30年度		R1年度～	未実施	R2年度	検討中			R1年度～	
			今後の予定	広域避難計画の作成、広域避難体制の構築に向けて、情報共有を実施	R3年度～	未定	R3年度～		継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	継続実施	未定	検討を継続		R3年度	
		・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらことハザードマップ整備	実施状況	20河川の洪水浸水想定区域図を関係市町に提供済 5河川について、早期提供に向け作業中				～R2年度		広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討	H29年度～R2年度	検討中			R1年度～	
			今後の予定	5河川の洪水浸水想定区域図を作成・提供(R3) ・水害リスク情報の空白域を解消・縮小するため、中小河川の氾濫推定図を順次作成・提供				R3年度～		広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討 ○避難場所の現地確認を行い災害種別に応じた避難経路・場所を検討	継続実施	未定	検討を継続 ハザードマップの更新を計画		R3年度	
		・委託者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況	被災協の場等を活用し、全国の避難確保計画作成状況等を構成機関へ共有済	R2年度				H29年度～	「避難確保計画の策定支援講習会」を実施(6回)	～R2年度	R2年度改定の地域防災計画に、該当する施設名を掲載	R2年度	委託者利用施設における避難訓練を実施済み 避難確保計画の作成を促進 避難確保計画・避難訓練の実施状況調査	H30年度 R1年度 R2年度	
			今後の予定	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R3年度			～R3年度	継続実施		R3年度	継続実施	R3年度	引き続き実施	継続実施	
		・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	ハザードマップポータルサイトにて洪水に係るリスク情報を公開中				H28年度～	未実施		R2年度				R1年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	HPでの避難所情報などを分かりやすく見やすいものに改善	継続実施					R3年度	
		・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	実施状況	—				—								
			今後の予定	—				—								
		・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							内水ハザードマップを制作、配布、HP掲載、出前講座等での周知	R2年度					
			今後の予定							内水ハザードマップの配布、HP掲載、出前講座等での周知を継続実施	R3年度					
■情報の伝達・発信																
		・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	R2年度	各自自治体の作成支援	H29年度～	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成済	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み H30年7月豪雨を受け、前線性降雨に対応した運用基準を適用	R1年度	作成済ではあるが、H30年岡山県にて設置していただいた水位計を利用し、精度の高い発令に努める	R1年度～	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協働でタイムラインを作成している	継続実施	
			今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R3年度～	継続実施	継続実施	水害タイムラインへの反映を考慮し、市町村の避難勧告型タイムラインの充実を呼びかける	～R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	早めの避難勧告などの発令に備える ○避難所の早期開設 ○河川監視等の報告を災害対策本部会議で共有し、避難勧告等の発令の判断材料とする	継続実施	
		・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度	水系一体のタイムラインに拡充	R1年度	旭川水害タイムラインの改善を行った	R2年度	水系全体の自治体も参加する体制に変更した	R1年度	未実施	R2年度	吉井川・旭川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	
			今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R3年度～	PDCAサイクルにより改善	R3年度～	旭川水害タイムラインの拡充及び改善	R3年度	継続実施	継続実施	未定	未定	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	R3年度	
		・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	未実施	R2年度	自治体訓練への参加や支援	H29年度～	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害特別訓練を実施した	R1年度～	旭川水害タイムラインを運用開始 旭川水害タイムラインシンポジウムを実施済み	H29年度～	未実施	R2年度	赤磐市総合防災訓練を実施し、時系列に沿った実動訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して風水害に関する向上訓練を実施 赤磐市総合防災訓練を実施予定	H30年度 R1年度 R3年度	
			今後の予定	自治体が実施する災害訓練、水防訓練に積極的に参加	R3年度～	継続実施	継続実施	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定			
		・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況	水害リスクラインによる水位情報の提供	R2年度	警報等における危険度の色分け表示 情報提供メッシュ情報の充実化	H29年度～	水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川)。 R2.6旭川の県管理区間(大臣管理区間上流～旭川ダム下流)を洪水予報河川に指定 第4回岡山県大規模氾濫減災協議会(H30.5.16)において、全市町村に浸水実績等の資料を提供。 現行基準水位の運用等について、関係市町村にアンケート調査を実施	～R2年度							
			今後の予定	継続実施	R3年度～	未定	R3年度～	笹か瀬、足守川洪水予報河川の基準水位の見直しを検討 水位周知河川の新規指定を検討	R3年度～							
		・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況	洪水予報や水位周知河川の発表形式の見直しを行った	R1年度	洪水警報、注意報の基準見直しを行い洪水予報の実施要領の改正をおこなった	R2年度	令和元年度、水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知様式に警戒レベル相当や水位状況のポンチ絵を追加するなど見直しを行った。課題が生じた場合は、必要に応じて更なる見直しを検討する	R1年度～							
			今後の予定	必要に応じて見直しを行う	R2年度	必要に応じて見直しを行う	R3年度～	現在の取り組みを継続	継続実施							
		・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	実施状況	ホットライン構築済	構築済			H30年度出水期前にホットラインを構築、R1年度出水期前に内容を拡充してきており、対象河川について、ホットラインによる情報提供を行っている	～R2年度	ホットライン構築済み	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットライン構築済	R1年度	
			今後の予定	継続実施	R3年度～			今後も引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	R3年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			
		・メディア連携分科会を設置する、メディア連携策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信	実施状況	岡山河川事務所公式Twitterを開設	R元年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			今後の予定	継続的な情報発信	R3年度～	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2)ソフト対策の主な取り組み (1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取り組み													
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等													
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(旭川/百間川における国管理区間)	実施状況										
			今後の予定										
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況										
			今後の予定										
		・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況		未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施		-
			今後の予定		検討中		検討中	未定	未定	広域的な避難の検討	R3以降	未定	R3年度
		・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらことハザードマップ整備	実施状況		未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	小学校区単位のハザードマップを作成(1地区)	R1年度
			今後の予定		検討中	検討中	土砂災害特別警戒区域の指定結果を反映した土砂災害ハザードマップ改訂版の作成	R3年度	浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備	R3以降	継続実施		継続実施
		・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況	避難確保計画は全施設で作成済、訓練の支援	R2年度	要配慮者施設も総合防災訓練に参加	R1年度	未実施	R2年度	防災計画に定められている施設について、個別計画の作成、訓練実施の啓発	R2~	避難確保計画の雛形を要配慮者利用施設所管理へ提供し、計画の作成支援を行った。	R2年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	定期的に実施	R3	未定	未定	未作成の施設への説明、作成依頼	R3~	継続実施	R3年度
		・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	新たな防災マップに情報掲載	R2年度	未実施	R2年度	県HPへのリンク設定済	実施済み	町ホームページに情報HPのリンク	R2年度~	ハザードマップをHP上にデータ形式で掲載することに取組中。	R2年度
			今後の予定	地域防災説明会・防災出前講座で周知	継続実施	検討中	検討中	未定	未定	継続実施	継続	継続実施	R3年度
		・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	実施状況							未実施	R2年度	未実施	R2年度
			今後の予定							未定	未定	未定	未定
		・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							未実施	R2年度	未実施	R2年度
			今後の予定							地域自主防災を中心に内水想定図の作成を推進	R3以降~	未定	未定
■情報の伝達・発信													
		・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況	市町村の避難勧告の発令等に着目した関係者一体型タイムライン(防災行動計画)策定済	R1年度	避難情報が発令される状況が発生した際に、後日タイムラインの振り返り及び修正を実施	R2年度	気象台が発表する情報を説明会で確認し、県のタイムラインを参考にしながら作成	R2年度	未実施	R2年度	実施済み	H29年度~
			今後の予定	精度向上を検討	R3年度~	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	随時	継続実施	R3年度
		・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度
			今後の予定	マニュアルを活用しに策定予定	R3年度~	継続実施	R3年度	出水期までに策定予定	R3年度	出水期までに策定予定	R3年度	継続実施	R3年度
		・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	県水害特別防災訓練において実施済	R2年度	総合防災訓練時に実施	R1年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	実施済み	H29年度~
			今後の予定	継続実施	R3年度~	定期的に実施	R3	未定	未定	各種訓練への参加及び訓練	R3年度~	継続実施	R3年度
		・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況										
			今後の予定										
		・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況										
			今後の予定										
		・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	実施状況	ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインを構築(堤防決壊等の情報を把握したときに連絡)	R2年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度	継続実施	R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度
		・メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信	実施状況										
			今後の予定										

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	令和2年度	関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及や啓発活動を実施する	H29年度～	出前講座等における防災情報をする中で、水防災意識社会に関する情報を提供	R2年度	防災全般について、H31年は25回実施 今後メニューの中に、水防災について特化したものを検討	R1年度～	出前講座で実施 非常食の体験試食を実施済み	R1年度 R2年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、出前講座等を活用し、防災知識の普及や啓発活動を実施する	継続実施	継続実施	R3年度	継続実施	継続実施	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施	
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R元年度	教育委員会等と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	小学校の低・中・高学年それぞれの発達段階に合わせた「防災ワークシート」を作成して県内小学校に配布し防災教育の促進に努めた	R1年度	中学校において全校生徒を対象とした出前講座を実施(4校) 市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R2年度	未実施	R2年度	キラリ安全フェスティバルを開催し、気象台にも参加いただき、気象台ブースにて啓発を行っていただいた防災授業を小学校で実施	H28年度～ R1年度 R2年度	
			今後の予定	意識醸成につなげるため、講習会等を実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災ワークシートの電子データ化を検討する	継続実施	130校実施予定	～R3年度	未定	未定	防災授業を引き続き実施	継続実施	
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	小学生を対象とした防災教育を1校実施	R2年度											
			今後の予定	継続実施	継続実施											
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	R2年度			登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信	R1年度	防災メールの普及を推進 LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	防災メールをはじめ、ツイッターやフェイスブックなどで防災情報を配信している	R1年度～	出前講座など、地区住民を対象に登録型防災メールの普及や啓発実施済み	H28年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施			防災情報メールや防災アプリの登録者数を増やす取組を引き続き実施する	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)に情報をリアルタイムで提供中	R2年度			危機管理型水位計等を令和元年度までに78基、令和2年度に19基増設(増設中) 河川監視カメラを令和元年度に41基増設、令和2年度に26基増設(増設中)	R2年度							
			今後の予定	継続実施	継続実施			令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに「川の水位情報」で、水位・河川監視カメラ画像などの情報を提供予定	R3(予定)							
・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H29年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った 令和2年度末までに「もたろうの防災」の改訂を行い、住民向け広報を強化予定	H30年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及や啓発活動を行う	R2年度	未実施			地区防災マップを作成済み	H29年度		
	今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続きあらゆる機会を捉え積極的な広報に努める。	R2年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R3年度	未定	未定	未定	引き続き実施	継続実施		
・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況					地元小学生を対象に工事現場見学会等を実施	R2年度	未実施 平成30年7月豪雨災害記録誌を作成	R2年度	未実施		R2年度				
	今後の予定					継続的に実施	R3年度～	特に予定なし	R3年度	未定	未定	R3年度				
2)ソフト対策の主な取り組み 2)氾濫特性に応じた効果的な水防活動																
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	実施状況	コロナ禍のため、未実施	R2年度	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～			実施済み	R1年度			市の職員を中心に河川点検を実施	H30年度	
			今後の予定	継続実施	R3年度～	未定	R3年度～			継続実施	継続実施			未定	～R2年度	
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	水防技術講習会を実施	R2年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が行う訓練を支援	H29年度～	関係機関の連携による県水害特別防災訓練(図上・実働訓練)および水防技術向上に資する岡山県水防技術講習会を実施した	～R2年度	毎年度、6月に水防訓練を実施(R2年度はコロナの影響で中止)	R1年度				市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して市図上訓練、草生自主防災組織運動訓練を実施	H30年度 R2年度 R1年度
			今後の予定	水防演習や各自治体の訓練に積極的に参加	R3年度～	継続実施	R3年度～	出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			赤磐市総合防災訓練を実施	R3年度
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事を掲載済	継続実施						実施済み	H30年度			実施済み	H28年度～
			今後の予定	継続実施	継続実施						継続実施	継続実施			市ホームページや広報誌等で募集していく	継続実施
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	災害拠点病院の洪水対策検討会にオブザーバーとして参加し、技術的助言を行った	R2年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成や災害時の受援体制の整備を働き	H29年度～	未実施		R2年度			未実施	R2年度
			今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	R3年度～			引き続き業務継続計画(BCP)の作成、受援体制の整備を働きかける	継続実施	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有	継続実施				未定	
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	地域の建設業者による水防支援体制構築済	継続実施						協定内容の確認を行い、内容に修正等が必要な場合は協議し修正する	H30年度	玉野建設業協会と災害協定を締結している	R2年度	赤磐市総合防災訓練を実施し、協定に基づき土砂撤去、道路啓閉訓練を実施	H30年度
			今後の予定	継続実施	R3年度～					継続実施	継続実施	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	—	赤磐市総合防災訓練の中で実施予定	R3年度
2)ソフト対策の主な取り組み 3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																
2)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を減災協で共有し、関係市町村に送付済	R2年度			H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規程が作成された	～R2年度	国が作成する計画の情報を共有	R2年度	情報共有一実施済 排水計画一未実施	R1年度(情報共有)	未実施		R2年度
			今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	R3年度～			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める	継続実施	継続実施	R3年度	未定	未定	未定	～R2年度	

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	自主防災組織の避難・防災訓練	～R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	年間	公民館単位の防災講座の実施 自主防災組織の育成・強化	H29年度～ R2年度		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	検討中	検討中	検討中	検討中	出前講座などを活用しながら、防災意識向上を実施していく	随時	継続実施	R3年度		
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	学校、保護者からの要請で実施	R2年度	R1年度実施済み	R1年度	未実施	R2年度	中学校区での危険箇所の把握及び非常時の訓練など	R2年度	小学生を対象とした防災教育の実施	R2年度		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	定期的な実施を検討	R3年度	未定	R3年度	小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	随時	継続実施	R3年度		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況												
			今後の予定												
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	未実施	R2年度	未実施	R2年度	LINE等による登録制メールを整備し、防災情報を配信(R1年度整備)	R2年度	未実施	R2年度	防災情報メール配信サービスの実施	H28年度～		
			今後の予定	多様型消防防災メールの導入	R3年度	検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	継続実施	R3年度		
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	ライブカメラの情報をHPで提供	実施中	河川ライブカメラ増設7箇所(計21箇所)	R2年度			町内2箇所の河川カメラの映像を町HPで公開(H25年度から)	R2年度				
			今後の予定	リアルタイム提供(時間更新静止画)しており、設置箇所の増強を検討	R3年度～			1箇所追加予定	R3年度						
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	広報、説明会などで周知	R2年度	広報・周知を定期的に実施	R2年度	広報紙等による防災情報の周知	R2年度	ポスターの掲示 広報誌での啓もう活動	R2年度	広報紙等による周知	R2年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続	継続実施	R3年度			
・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	地域防災説明会で地域ごと資料作成、発表	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度				
	今後の予定	継続実施	R3年度～	検討中	検討中	未定	未定	地域での防災訓練や学習会での地域での災害の継承を随時	R3年度～	未定	R3年度				
2)ソフト対策の主な取り組み 2)氾濫特性に応じた効果的な水防活動															
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況												
			今後の予定												
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	陸こう操作訓練の実施	R2年度	定期的に実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R2年度	消防団等を中心とした排水訓練	H29年度		
			今後の予定	定期的に実施	R3年度～	定期的に実施	R3.6	未定	未定	ポスター掲示	R3年度	水害対応訓練の実施	R3年度		
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	消防機関(消防団)の人員増強	R2年度	村ホームページや広報誌等で募集	～R2年度	消防団員(水防団員)の募集を実施	R2年度	継続実施	継続	消防団員による募集活動	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続	継続実施	R3年度			
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	FM告知の整備に伴う告知端末の設置、運用、庁舎非常用発電機の維持	～R2年度					未実施	R2年度	職員用防災メールの整備等	H29年度～		
			今後の予定			継続実施	継続実施			未定	未定	継続実施	R3年度		
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会との協定締結、加えて電気工事業者組合と協定締結	R2年度	村内事業者5社と協定を締結、災害時には社会基盤の応急復旧を行う	実施済み	町内建設業者との災害協定の締結	実施済み	建設業協会等との防災協定	継続	防災協定の締結(実施済み)	-		
			今後の予定	協定拡充	R3年度～	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	-	未定	未定	継続実施	継続	継続実施	R3年度		
		2)ソフト対策の主な取り組み 3)長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策													
		2)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況			未実施	R2年度	未実施	R2年度	未実施	R1年度	未実施	-
今後の予定						検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	未定	R3年度		